

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン

国内子ども支援の現場から

みんなのへや×
企業=子どもの笑顔！

ワールド・ビジョン・ジャパンの活動は多くの個人、企業、団体等に様々な形で支えられています。6月20日の「みんなのへや」はジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループの方々が見守りボランティアとしてご参加くださり、西武信用金庫本町通支店からは「しんきんフルーツの日」として果物を届けていただいた特別な回でした。いつも以上に子どもたちの笑顔あふれる「みんなのへや」となりました。



西武信用金庫本町通支店の職員の方々（右の3名）がおいしい果物をたくさん届けてくださいました

様々な連携のカタチ

ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループの方々には、チャイルド・スポンサーシップの手紙翻訳ボランティアとして長年お世話になっています。昨年からは、「みんなのへや」の見守りボランティアもスタート。子どもたちの気持ちに寄り添い、工作やゲーム等、時間いっぱいまで遊んでくださるので、子どもたちもスタッフも来てくださるのを楽しみにしています。参加された社員の方からは、「子どもたちのコミュニケーション能力の高さに驚きつつ、楽しく過ごさせていただきました」とのご感想が寄せられました。

西武信用金庫の地域貢献活動「しんきんフルーツの日」（子ども食堂等にフルーツを届ける取り組み）の一環として、本町通支店の方々が「みんなのへや」に果物を届けてくださいました。子どもたちは2種類あったメロンを食べ比べたり、保護者や年少のきょうだいに取り分けてあげたりと楽しみ、たくさんご提供いただいた果物もあっという間になくなってしまいました。西武信用金庫の職員の方からは「子どもたちとの食事や遊びができ、とても貴重な体験でした。ありがとうございました」とご感想をいただきました。



ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループの方々（赤いシャツの2名）を交えたカルタ大会も大盛況！



この日はカルタが大人気。子どももおとも仲良く真剣に楽しみました！

～スタッフからひとこと～

6月20日の「みんなのへや」は、二つの企業からのご参加が偶然にも重なった特別な回でした。この活動が様々な方に支えていただいていることに、感謝の思いを新たにす一日となりました。「みんなのへや」には様々な子どもたちがやってきます。関わるおとも、年齢、性別、現在の仕事やこれまでの経歴など、人材の多様性があるほど、より居心地のよい豊かな場所になるのではないのでしょうか。これからも皆さまとともに、子どもたちのための居場所づくりを進めてまいります。

※「みんなのへや」のスタッフ、ボランティア、訪問者等には、ワールド・ビジョン・ジャパンの「セーフガーディング・ポリシー」について事前の研修および誓約をいただいています。

須田・山下

